

# 令和5年度総会 議案書

## 次 第

### (1) 議案審議

第1号議案 令和4年度事業報告について……………p.1

第2号議案 令和4年度決算・監査報告について……………p.22

第3号議案 令和5年度世話人および役職の選任について……………p.24

第4号議案 令和5年度事業計画について……………p.25

第5号議案 令和5年度予算計画について……………p.35

### (2) 報告

第1号報告 会員入・退会について……………p.40

第1号議案 令和4年度事業報告について

(1)プロジェクト

a. 世田谷ゆかりの生涯現役電車と旅館を訪ねる会(第2回)

プロジェクト名	世田谷ゆかりの生涯現役電車と旅館を訪ねる会(第2回)
開催日時	令和4年10月15日7:20~16日17:30(1泊2日)
会場	千葉県銚子市:銚子電鉄、海鹿島 千葉県大多喜町:大屋旅館、養老溪谷
事業主体	主体となる団体:世田谷風景じゅく 連携する団体:世田谷砂場クラブ
テーマ	「コロナ禍で探る世田谷の原風景」の企画に基づいて、世田谷にゆかりの車両等に関連した千葉県内の施設群を巡る1泊2日の見学会を企画し、多くの同好者を集めて新しい交流・親睦を図る。
趣旨	かつて世田谷を走った電車が、2度の定年退職を経て、今も銚子電鉄で現役続行中。大多喜町大屋旅館は、かつての三軒茶屋の石橋楼を彷彿させる文化財でかつ現役の旅館。ポッポの丘には世田谷でかつて活躍した電車に再会できる(鉄道愛好者の新規参加なしのためポッポの丘訪問は割愛)。こうした世田谷にゆかりの車両・旅館を効率的に見学する会を催すことで、ネットワーク加盟団体の会員あるいは区内の鉄道ファンが交流する場を提供する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ配布にて参加者募集、ネットワーク臨時総会でもPR</li> <li>・別紙1に旅のしおり(実行程)と写真。</li> <li>・参加者数=電机组6名(世田谷風景じゅく、世田谷砂場クラブ、世田谷環境学習会、世田谷地域デビューの会)+自動車組7名(劇団・せたがや創作紙芝居)=合計13名 電机组と自動車組が別行動し、旅館で合流して紙芝居実演・観賞と夕食会と交流会を行った。</li> <li>・報告書(本紙)を作成公開し、今後の類似した交流事業企画に役立てる。</li> </ul> <p><b>参加者の感想:</b>「面白かった、次回も参加したい。」「旅館での紙芝居上演が2演目とも電車にちなんだもので、脚本・演出・演技すべての面で良かった。」「夕食時に紙芝居のクイズ(賞品付き)が盛り上がった。」「夕食後の交流会が楽しかった。」「のんびり田舎を楽しめた。」「割引切符購入に手間取って集合に間に合わなかったが、次の特急で追いかけて合流できた。(乗り継ぎに余裕時間)翌日も大多喜町ゆっくり散策でスタートし、旅館へ忘れ物を取りに戻れた」「2日目旅程がオプションで良かった。」など。</p> <p><b>実施者の気づき:</b>貸切りバスでの企画から鉄道移動に変更して昨年度実施し、旅の魅力が増し観光地巡りの効率や経済性で大差なく正解だったが、今年度はさらに「訪問先の選択に自由度」を持たせて、参加者の意向と天気と相談しながら実施したところ、予想以上にスムーズで好評であった。また、養老溪谷の路線バスの運転手さんが車内で親切な沿線解説をしてくれて最適な場所で降車できて助かった。劇団・せたがや創作紙芝居の方々が大勢で参加くださり、大いに盛り上がり良い旅となった。</p>
今後の展開	令和5年度もほぼ同一ルートで1泊2泊の旅を企画(3回目・最終回)をして、より多くの参加者を集めて実施したい。さらに令和6年度は小田原市に世田谷とつながりのある場所を巡る予定で、その下見を1回実施済、さらに2回目以降の下見を予定。
会計報告	<p>収入:プロジェクト費 10,000円 交通費宿泊費は各自精算とし、参加費を徴収しなかった。</p> <p>支出:チラシ作成費 10,000円 (チラシデザイン含めて制作委託、A4判片面カラー印刷 100部)</p>

別紙1 旅のしおり・写真

生涯現役ネットワーク 令和4年度プロジェクト  
 世田谷風景しゅく/世田谷砂漠クラブ 共同企画  
**世田谷ゆかりの生涯現役電車と旅館を訪ねる会**  
 集合時刻: 令和4年10月15日(土) 午前7:20  
 集合場所: 東京駅 総武線 地下ホーム(特急しおさい)の中間

1日目 10月15日(土)

神田池袋線 池袋4駅 池袋 池袋駅西口 池袋駅東口 池袋駅南口 池袋駅北口  
 池袋 池袋駅西口 池袋駅東口 池袋駅南口 池袋駅北口  
 7:27発 8:34着 10:20発 10:29着 11:52発 12:03着  
 駅到着後30分 竹久夢二訪問・海岸散策30分 昼食・売店

池袋—池袋本線—成東—東武東上線—大宮—川口線—大宮—いすみ線—大多喜  
 12:49発 14:41着 14:46発 15:20着 15:23発 16:28着 16:41着 17:12着

大多喜—池袋4駅—大屋旅館  
 17:18発 17:38着

18:00 紙芝居上演(夢の少年山荘、京王雑物語) 19:00 夕食

2日目 10月16日(日)

A:ポッポの丘再訪コース

大屋旅館—大宮5分前線—大多喜—いすみ線—国吉—池袋線—ポッポの丘—池袋—国吉  
 8:00発 9:30着 10:37発 11:08着 11:19発 11:29着 13:19着 13:29着  
 14:00発 14:10着

国吉—いすみ線—大宮—川口線—上総—ノ宮—川口線—東京  
 13:21発 13:54着 14:20着 14:27発 14:38着 16:00着  
 14:27発 14:41着 14:50着 (特急しおさい14時) 16:00着

B:養老渓谷ハイキングコース **こもろを温泉**  
 大屋旅館—大宮5分前線—大多喜—いすみ線—上総中野—小湊線—養老渓谷—  
 8:45発 9:30着 9:36発 10:20着 10:23発 10:33着 11:00着  
 温泉バス 栗又の滝 13:42着 14:01着 15:04着 15:05着 16:25着 16:42着 16:44着 17:25着



海蔵島、園木田散歩石碑

PCでシニアZoomサロンに参加しながら散策



竹久夢二歌碑



海蔵島の海岸



大屋旅館



大多喜町役場と大多喜城



いすみ鉄道の車両と大多喜城大手門



養老渓谷 栗又の滝

**Seta IT Team による広報活動支援プロジェクトの活動報告**

報告日:令和 5 年 3 月 30 日

報告者:チームリーダー 中島有二

事業内容	<p>活動団体の紹介動画を撮影し、YouTube にアップできる動画として編集する。</p> <p>ネットワーク恒例のフェアでは、記録班として担当する。</p>
------	--

実績	<p>◆ 「VLLO 研修講座」の開催:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 実施日: 2023 年1月25日と2月1日の二回開催</li> <li>● 参加者: 延べ16名の参加</li> <li>● 開催目的: この研修講座は、今後の地域活動における各種イベントをスマホで撮影し、動画編集ソフト VLLO を用いてイベントの記録動画を作成することのできる人材育成を目的に実施した。</li> <li>● 実施成果: 参加者は概ねこの講座プログラムでスマホ動画作成の初級程度の習得ができることが確認された。</li> <li>● 今後の活動予定: 次年度は、各自が地域活動をスマホで撮影し編集するという活動の支援と、作品の完成度高めるための「レベルアップ研修講座」の開催を企画し、実施する。</li> </ul> <p>◆ 実施した活動団体の紹介動画の制作(YouTube に公開済み):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域デビューの会が行っているシニア zoom サロンの記録動画を無料で試験的に 4 本制作</li> <li>② 生涯現役フェアの記録ビデオの撮影に協力</li> </ul>
----	---

会計報告	収入	運営補助金	10,000 円
		講座収入料	0 円
		受講料	8,000 円
			計 18,000 円
	支出	運営費(VLLO 研修講講座)	9000 円x2回=18,000 円
			計 18,000 円

c.紙芝居(単独)

令和4年度「せたがや生涯現役ネットワーク」プロジェクト報告書	
プロジェクト名	紙芝居で知る世田谷の歴史
開催日時	平成4年11月19日(土) 13:30~17:00
会場	世田谷区立保健福祉総合プラザ(うめとぴあ) 2F会議室
事業主体	劇団・せたがや創作紙芝居
テーマ	世田谷を豊かにする紙芝居活動
趣旨	世田谷の知られざる歴史をテーマにした紙芝居の上演を通じて「面白かった」「楽しかった」「歴史の知識をもらった」などの交流の場を提供する目的で開催しました。
事業内容	<p>事前にチラシ等で周知を行い、二部制で最大50名の募集を行ったところ32名の御来場をいただきました。</p> <p>テーマは①青鳥はどこに ②せたがや城と豪徳寺招き猫 ③スタルヒンと駒沢球場 以上を二回公演をおこないました。</p> <p>ご来場者のアンケートから以下のご意見感想をいただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「青い鳥はどこに」は熱意と清廉さが伝わりました。</li> <li>・「せたがや城とまねき猫」は歴史が立体感(時の流れ、地勢、人々の動き、思い)をもって描かれていて勉強になりました。</li> <li>・「スタルヒンと駒沢球場」は興味深く感動的でした。</li> <li>・絵が物語にマッチしていてとても良く、団員の皆さんの声、演技力も素晴らしいとおもいます。</li> <li>・世田谷の歴史を楽しくうかがいました。見える風景もかわりました。今後も、世田谷の歴史やお話を色々取り上げてください。</li> <li>・創作紙芝居に温故知新を感じました。いろいろな世代の人への啓蒙に期待します。</li> </ul>
今後の展開	上記のご意見等を参考に活動の幅を広げ、メンバーの拡充を図っていく予定です。
会計報告	収入 参加費32名 ￥32,000 補助金 ￥3,000 合計 ￥35,000
	支出 会場費 ￥1,890 チラシ作成費 ￥5,292 菓子飲み物代 ￥14,058 上演費、その他 ￥12,210 合計 ￥35,000

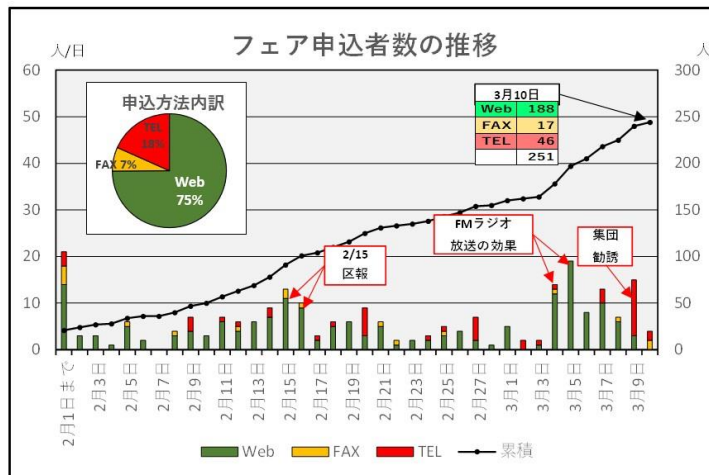
d.紙芝居(世田谷風景じゅくとのコラボ)

<h2 style="text-align: center;">令和4年度「せたがや生涯現役ネットワーク」プロジェクト報告書</h2>	
プロジェクト名	世田谷古民家で見る紙芝居
開催日時	令和5年4月1日 14:00~16:00
会場	有形文化財 日章館亀井邸 世田谷区松原1丁目31
事業主体	劇団・せたがや創作紙芝居 世田谷風景じゅく コラボレーション
テーマ	昭和5年に建築された古民家での紙芝居上演 世田谷風景じゅくによる鉄道模型の展示と鉄道講話
趣旨	令和4年に有形文化財に認定された古民家での世田谷の歴史に関わる創作紙芝居の上演及び、世田谷風景じゅくによる鉄道講話を聞き来場者同志の交流を計り、公開市民庭園で草花を鑑賞します。
事業内容	<p>古民家での上演のため20名定員として来場者を募りました。立地にふさわしいテーマ①京王線物語②竹久夢二の少年山荘③さぎ草物語の上演をし、ひきつづき鉄道模型の説明、及び講話を実施しました。</p> <p>その後ご来場者の自己紹介及び感想を伺いました。以下の感想、ご意見をいただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京王線物語は出演者の演技も絵も臨場感にあふれ、涙が出ました。</li> <li>・竹久夢二の少年山荘が松原にあったことを長年居住しているのに初めて知りました。</li> <li>・さぎ草物語は絵も素晴らしく劇団員の演技も以前より向上して感動しました。</li> <li>・先日の「生涯現役フェア」でコロナの中大変だった事を知りました。パソコンの映像ですますのに1枚ずつ手作りの絵をめくり、リアルタイムに演じ感動しました。</li> <li>・世田谷線、玉川電車の歴史に関わるお話は興味深く拝聴しました。</li> </ul>
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記のご意見、励ましを糧にますます上演内容を充実させていきたい。</li> <li>・古民家日章館での公演は解放庭園の桜の満開の時期に行いたい。</li> <li>・他団体とのコラボも検討したい。</li> </ul>
会計報告	<p>・収入</p> <p>参加費 20名×1,000円=20,000円</p> <p>補助費 10,000円</p> <p>合計 30,000円</p>
	<p>・支出</p> <p>チラシ作成費 ; 5,200円 おやつ代 7,200円</p> <p>機材搬送費、設置費 9,000円 上演費 5,000円</p> <p>打ち合わせ交通費 3,000円 予備費 600円</p> <p>合計 30,000円</p>

(2) 補助事業

a. イベント(第 16 回生涯現役フェア)

事業の名称	(仮称)「生涯現役フェア」→第 16 回生涯現役フェア
事業の実施期間	令和 4 年 8 月 8 日 (月) ～ 令和 5 年 3 月 25 日 (土) ※フェア開催日：令和 5 年 3 月 11 日 (土)
事業の実施場所	フェア：烏山区民センター 実行委員会：区内施設会議室
参加人数等	フェア有料入場者：224 人、フェア無料ゾーン来客：約 150 人、 出演・出展・出店：31 団体・約 90 人、スタッフ 36 人 計 500 人
事業の実施結果	<p><b>1. 企画</b>            実行委員会を 7 回開催して企画を練り上げた。特に烏山区民センターの特徴である通行人との距離感、ホワイエ（ホールロビー）の構造を生かしたパラレルセッション（複数個所同時並行プログラム）を採用した。            第 1～3 回：ゲスト選定、概略プログラム、参加団体募集            第 4～5 回：ゲスト・参加団体・正式プログラムほぼ確定しチラシ作成            第 6 回：参加団体への事前説明、会場確認、詳細実施計画            第 7 回：当日役割・スタッフの最終確認、手配品準備</p> <p><b>2. 広報・集客・申込み受付</b>…新規広報手段追加、web 申込み推進            このイベントによって、今まで地域活動に縁の無かったシニアが地域活動を始めるきっかけとなるようなことが、少しでも多くあるように広く区民にこのイベントを知ってもらい、加盟団体の仲間内だけではなく<b>本来のお客を増やすことに力点を置いた。</b>(イベント内容がどんなに良くても客が来なければ補助事業の成果は上がらない)            そのため、従来の広報手段（区報、区施設 140 箇所へのチラシ配架、加盟団体の口コミ、FM ラジオ）に加えて、チラシを従来の 2 倍の 8,000 部刷り「町内会の回覧・掲示板」「まちづくりセンター広報板」を広い地域で活用、音楽教室や街角のチラシ置場へチラシを置かせてもらう、ミニコミ紙に掲載、SNS の活用、地元商店街で音声放送、区民センター出張所窓ガラスにポスター掲示、1 月と 2 月に区民センター広場のフェスタへ本番同様に出演しポスター掲示・チラシ配り、など<b>新たな広報手段</b>を実施した。            申込受付を web 主体とし Fax も併用したが Fax は全体の 7%と低率。世田谷区のシニアは web 申込みに順応できており、高齢者向けに電話受付で対応すれば、Fax 受付は今後無くしても良い。また Google フォームでの受付は極めて円滑だった。</p>



	<p><b>3. フェア実施</b></p> <p>1) ホール/ピーター・バラカントークショー シニア世代に共感する音楽の話で、多くの方からとても良いトークショーだったとの声が届いている。ホールは、ほぼ満席になった。</p> <p>2) ホール/舞台発表 バラカンさんにダンス 3 団体を鑑賞頂き、殆どの観客もホール内に残る中でダンスを披露できた。サルサ・社交ダンス・インド舞踊それぞれ好感されて、目的（普及・勧誘・認知）を達成できた。</p> <p>3) ホワイエ/団体紹介パネル展示 ホールロビーに統一デザインの段ボール製パネルが並ぶ明るい雰囲気の中で、この通路の通行人やホールから出てきた多くの来客と交流できた。</p> <p>4) 3F/スマホ相談コーナー 初めての企画だったが、多くの相談者が訪れて終日賑わった。</p> <p>5) 3F/体験コーナー・エキシビション他 3 階集会室のスペースを生かして、野鳥観察・和綴じ体験・サルサダンス体験・鉄道ジオラマ・バラカンさんサイン会を実施。</p> <p>6) 屋外広場/物販・その他 4 団体が広場で物販や似顔絵描きやライブショー（お笑い・昭和歌謡）。</p> <p><b>4. 事後まとめ・YouTube 動画の活用</b> フェア当日の様子を計画的に録画し、これを編集して数本の YouTube 動画をアップロード。ホームページに紹介記事と共に動画 URL を列記して、簡単に視聴可能に。ガイドブックや各団体のホームページにも動画 URL（QR コード）を貼り付けて活用する。</p>
<p>事業の成果の具体的な内容</p>	<p>1. トークショー有料観客224人とそれ以外に約150人の来場者があり会場は盛会であった。来場者へガイドブックとチラシの入った手提げ袋を配布し、地域団体の紹介・勧誘をできた。参加団体からの事後アンケート回答を以下に3例示すが効果的な団体PRの場となったことが窺える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野鳥ボランティア 1F パネル：説明聞いて頂いた=約 70 名 3F 体験コーナー：望遠鏡体験者=約 30 名 次回の行事への案内希望者 3 名</li> <li>・えこひろば（屋外広場に出店） 問合せ・コンタクト=3 件 団体活動体験希望者数=1 件</li> <li>・シニア SOHO 世田谷（1F パネル展示） アンケートにご協力頂き、公式 LINE の友達申請をお願いした結果、6 名の友達。</li> </ul> <p>2. 本フェアを機にネットワークを知り加盟を希望された団体が<b>2団体</b>あり、加盟予定である。</p>
<p>成果の自己評価</p>	<p>2 年前に「大人の学園祭」から「生涯現役フェア」に原点回帰して、イベントを通じて、これをきっかけに仲間が増えることに注力して企画を練ってきた。不幸にしてコロナ禍で 2 年間ライブ配信のみ（無観客）の開催だったが、今回の新たな試みはこの 2 年間温めて来たもので、目論見通りイベント全体が盛会（=従来の 2 倍以上の来客数）となった。ま</p>



た、新たな仲間を勧誘する目的に沿っていた。本当にイベントに参加して欲しいお客様 (=これから地域活動に目覚めて欲しい人) にフェア開催の情報を届けることで多くの観客を集め、新たな交流、活動のキッカケになっていたと自己評価する。

### 【実績写真】



\*参加31団体

生涯現役フェア（2023年3月11日）加盟団体の参加・不参加一覧表

No.	分類	団体名	参加/ 不参加	参加形態				
				舞台発表	パネル展示	チラシ配布	屋外出店	体験コーナー
1	健康づくり	世田谷区健康体操連盟	○		○	○		
2	健康づくり	世田谷ウォーキングフォーラム	○		○	○		
3	健康づくり	けやき歩好会（けやきあるこうかい）	○			○		
4	健康づくり	公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団						
5	健康づくり	NPO法人日本サルサ協会	○	○				○
6	健康づくり	中野ブラザーズタップダンス連盟						
7	健康づくり	自力ヨガ・クラブ	○	○				○
8	健康づくり	NPO東京木村式自然栽培推進協会						
9	健康づくり	生きがい世田谷の会	○		○	○		
10	シニアのための活動	パソコンクラブ優遊会	○					○
11	シニアのための活動	NPO法人シニアSOHO世田谷	○		○			○
12	シニアのための活動	JOINUS 世田谷サポートクラブ						
13	シニアのための活動	ひだまり文化研究会	○			○		
14	シニアのための活動	コミュニティご縁	○	○	○	○		
15	シニアのための活動	世田谷区老人問題研究会						
16	シニアのための活動	世田谷区高齢者クラブ連合会						
17	シニアのための活動	(株)ニッポンダイナミックシステムズ「e-ねっとサロン」						
18	シニアのための活動	せたがやすまほ研究会	○		○	○		○
19	シニアのための活動	株式会社ビットメディア						
20	シニアのための活動	老人給食協会ふきのとう						
21	シニア・障害者のための活動	社会福祉法人奉優会						
22	シニア・障害者のための活動	特定非営利活動法人語らいの家						
23	シニア・障害者のための活動	特定非営利活動法人せたがや異動ケア						
24	障がい者のための活動	トウレット友の会	○			○		
25	趣味・仲間づくり	せたがや生涯現役ドットネット（運営協議会）						
26	趣味・仲間づくり	世田谷地域デビューの会	○		○			
27	趣味・仲間づくり	世田谷区誌研究会	○		○	○		
28	趣味・仲間づくり	【ご当地】家族会	○	○				
29	趣味・仲間づくり	ナティヤム	○	○				
30	趣味・仲間づくり	和綴じの会「いろは」	○		○	○		○
31	趣味・仲間づくり	大山みちの会						
32	趣味・仲間づくり	中高年社交ダンスサークル	○	○		○		
33	趣味・仲間づくり	MOVING MUSIC	○				○	
34	趣味・仲間づくり	劇団・せたがや創作紙芝居	○	○	○			
35	趣味・仲間づくり	トーク会	○		○			○
36	趣味・仲間づくり	世田谷風景じゅく	○					○
37	環境	野鳥ボランティア	○	○	○	○		○
38	環境	NPO法人えこひろば	○				○	
39	環境	NPO法人芦花公園花の丘友の会						
40	環境・子供のための活動	世田谷環境学習会	○		○	○		
41	子供のための活動	かがやく目	○		○			
42	子供のための活動	世田谷砂場クラブ	○				○	
43	まちづくり拠点	駒沢給水塔風景遺産保存会（コマQ）						
44	まちづくり拠点	コーデ騎士団（こーでないとだん）						
45	まちづくり拠点	特定非営利法人笑顔せたがや						
46	まちづくり拠点	一般財団法人世田谷トラストまちづくり						
47	まちづくり拠点	世田谷区町内会総連合会						
48	まちづくり拠点	東京商工会議所世田谷支部						
49	まちづくり拠点	世田谷区商店街連合会						
50	その他	国士舘大学生涯学習センター【アカデミア国士舘】						
51	その他	世田谷区生涯大学同窓会	○		○	○		
52	その他	世田谷ボランティア協会	○		○			
53	その他	特定非営利法人カブラー	○		○		○	
54		ネットワーク世話人会（舞台挨拶・入会相談）	○	○	○	○		
			<b>31</b>	<b>9</b>	<b>18</b>	<b>15</b>	<b>4</b>	<b>9</b>

b.シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト

1 補助事業完了報告書

事業の名称	シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト
実施期間	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日
実施場所	1、区内5地域（世田谷、北沢、玉川、砧、烏山）でイベント開催 2、「ひだまり友遊会館」で「地域活動体験講座」の開催 3、「がやがや館」レストランで「全体交流会」の開催
参加人数等	1、実行委員会（実行委員23名+市民活動推進課担当4名） ・生涯現役ネット構成団体の公募の委員（10名） ・世田谷区社会福祉協議会推薦（地区サポーター）の委員（9名） ・世田谷ボランティア協会推薦の委員（2名） ・実行委員からの推薦委員（2名） ・市民活動推進課事務局（4名） 2、地域GR開催イベント参加者（延べ293名） 3、地域活動体験講座の参加者（延べ92名） 4、全体交流会の参加者（29名）
事業の実施結果	1、実行委員会の開催 ・4/22_PJ 実行委員会（1） ・5/27_PJ 実行委員会（2） ・6/24_PJ 実行委員会（3） ・7/22_PJ 実行委員会（4） ・8/1_活動体験講座チーム会議（第1回） ・8/22_活動体験講座チーム会議（第2回） ・8/26_PJ 実行委員会（5） ・9/27_活動体験講座チーム会議（第3回） ・9/30_PJ 実行委員会（6） ・10/14_活動体験講座チーム会議（第4回） ・10/28_PJ 実行委員会（7） ・10/28_活動体験講座チーム会議（第5回） ・11/5_活動体験講座チーム会議（第6回） ・11/25_PJ 実行委員会（8） ・12/23_PJ 実行委員会（9） ・1/6_報告書企画チーム（第1回） ・1/20_報告書企画チーム（第2回） ・1/27_PJ 実行委員会（10） ・2/24_PJ 実行委員会（11） ・2/24_報告書企画チーム（第3回） ・3/24_PJ 実行委員会（12） ・3/24_報告書企画チーム（第4回）

2、開催イベント

(1) イベント

地域 GR	開催日	イベント名	参加者	スタッフ	講師・発表者
世田谷 GR	10月7日	キャッシュレス時代のシニアの社会参加	21	5	2
	2月3日	認知症でも安心して暮らせる	14	5	2
北沢 GR	9月10日	ボッチャを学び、ボッチャを体験しよう	11	2	1
	10月12日	退職後を元気に過ごすための講座	13	4	1
	12月2日	市民緑地の魅力を学び楽しんで仲間づくり	12	4	4
烏山 GR	10月29日	初めてのノルディックウォーキング体験会	10	5	1
	11月26日	烏山地域の魅力を知ろう、語ろう	4	5	1
	2月18日	くらしの中の傾聴	11	6	2
砧 GR	10月8日	ずっと元気に過ごすための講座	15	7	3
	10月22日	町歩きを通じた仲間づくり	17	6	1
	3月18日	(雨天中止) 砧・玉川境界の社寺と文化財を歩く	0	0	0
玉川 GR	9月10日	ピクトグラムを学び、防災知識を深めよう!	15	6	7
	10月1日	美しいハープの調べ～演奏とトーク	36	6	2
	11月26日	玉川版お遍路ルートを巡る会	20	5	1
実施 13 回		(参加者数の合計)	199	66	28

(2) 地域活動体験講座の開催

1) 目的

- 区内在住在勤のシニアに地域活動を実際に体験してもらい、生涯現役ネットを主体とする各活動団体入会してもらうことを目的として開催した。

2) 実施内容

	開催日	イベント名	参加者	スタッフ	講師・発表者
体験講座	11月5日	第1回体験講座	12	18	4
	11月12日	第2回体験講座	11	17	14
	2月4日	体験発表会	5	11	0
		(参加者数の合計)	28	46	18

(3) 全体交流会の開催

1) 開催目的

本P J 実行委員メンバー同士とP J のイベント参加者や講師との交流を図り、それぞれの活動と人となりを知り合い、理解し合うことで、シニアの活動の輪を広げることを目的とした。

2) 実施内容

開催日	場所	参加者
3月4日	がやがや館 レストラン (アルトマーレ)	29

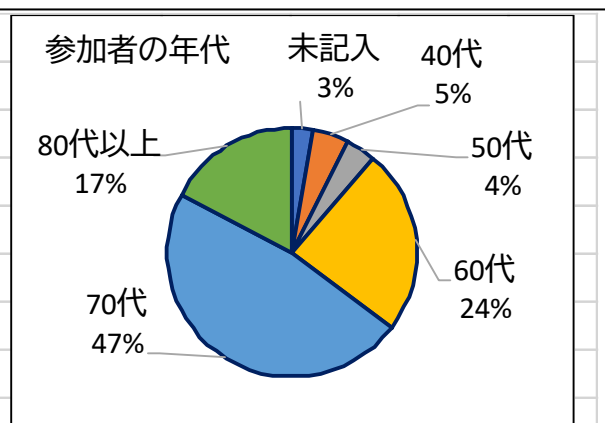
事業の成果の具体的な内容

1、本P J の記録 (報告) など

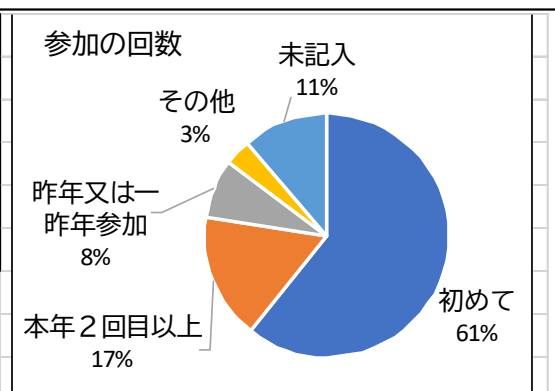
- (1) 実行委員会の議事録
- (2) 5 地域の企画G R のイベント実施報告
- (3) イベント参加者アンケート
- (4) P J 実行委員アンケート

2、参加者アンケートの集計結果から本P J の参加者の様子を成果として示す。回答者数150名 (延べ参加者199名) 回答率75%

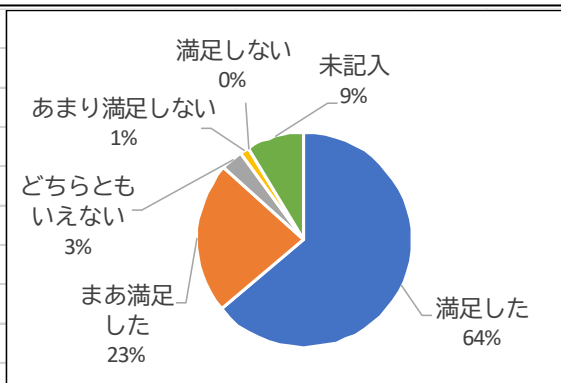
年代	人数	割合
未記入	4	3%
40代	7	5%
50代	6	4%
60代	36	24%
70代	71	47%
80代以上	26	17%
	150	



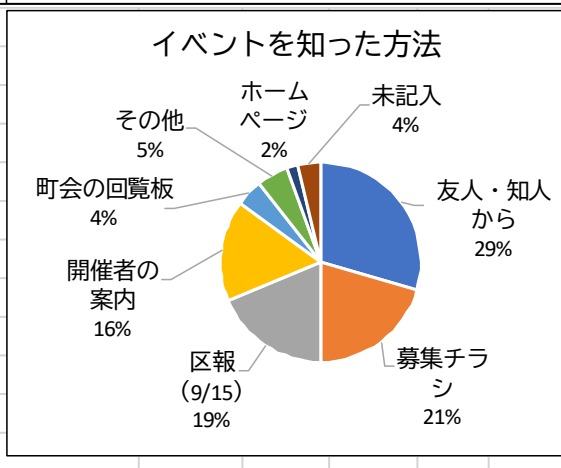
参加は何回目	人数	割合
初めて	91	61%
本年2回目以上	25	17%
昨年又は一昨年参加	12	8%
その他	5	3%
未記入	17	11%
	150	



イベントの満足度	人数	割合
満足した	96	70%
まあ満足した	34	25%
どちらともいえない	5	4%
あまり満足しない	2	1%
満足しない	0	0%
未記入	13	9%
	150	



イベントを知った方法	件数	割合
友人・知人から	47	32%
募集チラシ	33	23%
区報 (9/15)	30	21%
開催者の案内	26	18%
町会の回覧板	7	5%
その他	8	5%
ホームページ	3	2%
未記入	6	4%



成果の  
自己評価

**1、5地域でのイベント開催**

シニア層の社会参加を促すきっかけとしてのイベント開催を本年度も5地域でそれぞれの企画を実施したが、延べ200名程の一般参加者を集め、実行委員もお互いのイベントを協力したり、受講して理解と交流が進んだ。

**2、地域活動体験講座**

活動体験の受け皿団体の熱意が感じられる講座となったが、区報で募集した一般参加の受講者人数が少なく、各団体への新規加入会員の確保が不十分な結果となった。この原因は、開催時期や案内方法など、今後の実施には再検討する必要がある。

**3、全体交流会**

本交流会は初めての試みで、コミュニティご縁の小林さんのリードで、本PJ行委員とこれまでのイベント参加者や関係者が集い、お互いの活動内容や想いを紹介しあった中身の濃い集まりとなった。

#### 4、本PJの3年間の経緯

2020年度（決算：366,512円）

・実行委員会は7月から開催・コロナでイベントは密を避け5地域分散開催

・イベント開催（全13回）、全参加者数（スタッフ・講師含む）216名

2021年度（決算：401,426円）

・実行委員会は7月から開催、イベントの5地域分散開催

・イベント開催（全10回）、全参加者数 200名

2022年度（決算：858,860円）

・実行委員会は4月から開催、イベントの5地域分散開催

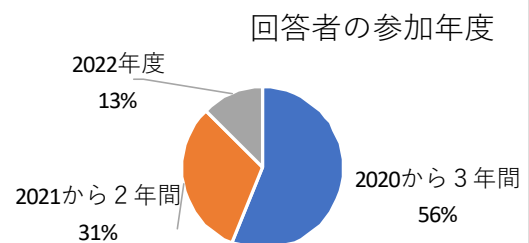
・地域活動体験講座、全体交流会の開催

・イベント開催（体験講座等含め全17回）、全参加者数 414名

#### 5、本PJ実行委員のアンケート結果（回答者16名）

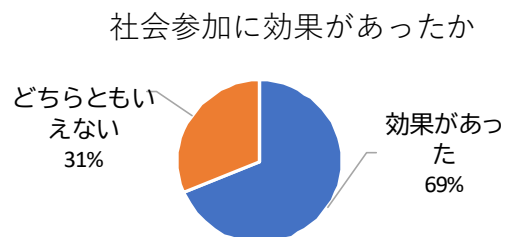
アンケート回答者の参加年度

2020から3年間	9	56%
2021から2年間	5	31%
2022年度	2	13%



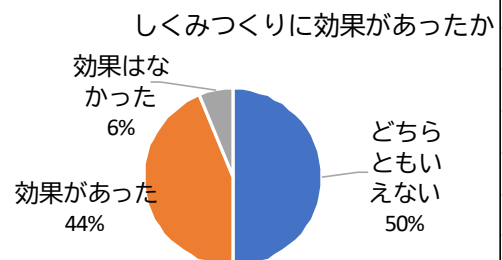
シニアの「社会参加」に効果があったか？

効果があった	11	69%
どちらともいえない	5	31%
効果はなかった	0	0%



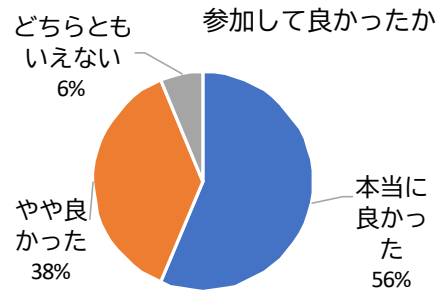
「仕組みづくり」に効果があったか？

どちらともいえない	8	50%
効果があった	7	44%
効果はなかった	1	6%



実行委員として参加して良かったか？

本当に良かった	9	56%
やや良かった	6	38%
どちらともいえない	1	6%
あまり良くなかった	0	0%
参加に意味がなかった	0	0%



6、本PJの今後の課題

(1) 市民と行政との協働

生涯現役ネットワークの事業に対する市民活動推進課の業務としてのミッションを確認し、市民側も区行政も、それを頭に入れて、シニアの社会参加の事業を協働して進める必要がある。

(2) PJ実行委員会のありかた

実行委員会の適正なメンバー数について、来るものは拒まずか、会則で規定するか。また、ボラ協と社協に実行委員メンバーを推薦してもらうことはしくみとして重要であるが、推薦してもらったメンバーへの事前説明が必要で、その担当は誰が担うか？

(3) 5地域で分散して、それぞれで企画するか、全体で企画するか？

イベントの開催内容や意思決定の方法などについて、分散か、全体でかのメリット、デメリットを、実行委員と関係者の参加の動機付けを勘案して方針決めておく必要がある。

(4) 各イベントや地域活動体験講座の参加者の集め方について

参加者を多く集める効果的な手段や、協力者を広げて実施する工夫が必要。また、参加者の受付方法（fax、電話、web、メール等）についても、個人情報保護や受付のお知らせ方法などを改善する必要がある。

(5) 生涯現役ネットのプロジェクトやイベント開催を全体として、シニアの社会参加をもっと効果的に促すような戦略（方針）を明確にして、実施スケジュールや手順、方法を計画する必要がある。

以上



# 実績写真



**北沢G 9/10 「ボッチャを学び、体験しよう」**

■ 期 令和4年9月10日(土) 14:00~18:00

■ 場 守山地区会館 3階 多目的室  
 東上井の湯温泉代動下車 徒歩5分

■ 講 守山地区会館 常務理事 小田 隆幸氏 (新代田地区センター)

■ 内 容 1. ボッチャとは何か  
 2. ボッチャのルールを体験しよう  
 3. ボッチャのルールを、実際に体験してみよう  
 4. ボッチャの重要性を認識してみよう

■ 定 員 先着20名

■ 参加費 無 料

■ 持ち物 運動しやすい服装、上履き、水分補給用飲み物

**守山地区会館外観**

**プレー風景(参考画像)**



c.シニア Zoom サロン

事業の名称	シニア Zoom サロン																																	
事業の実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日（単年度事業）																																	
事業の実施場所	リモート（サロン12回,運営委員会2回）、ひだまり友遊会館(懇話会1回,運営委員会2回)																																	
参加人数等	参加者：延べ201人、平均15.5人/回 運営委員：延べ134人、平均7.9人/回 計：延べ335人、平均23人/回																																	
事業の実施結果	<p>1. 組織 せたがや生涯現役ネットワーク内に公募を行って組織した Zoom サロン運営委員会（表1）により運営した。</p> <p>表1. Zoom サロン運営委員会メンバーと役割</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>氏名</th> <th>所属団体</th> <th>役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>真貝 高三</td> <td>せたがやすまほ研究会</td> <td>委員長、MC</td> </tr> <tr> <td>臼井 達郎</td> <td>世田谷地域デビューの会</td> <td>渉外担当</td> </tr> <tr> <td>岡崎 宏</td> <td>せたがや生涯現役ドットネット</td> <td>広報、参加受付・メール配信</td> </tr> <tr> <td>佐伯 京子</td> <td>世田谷ウォーキングフォーラム</td> <td>MC</td> </tr> <tr> <td>大西 真由美</td> <td>世田谷地域デビューの会</td> <td>MC</td> </tr> <tr> <td>小畑 崇</td> <td>世田谷ウォーキングフォーラム</td> <td>記録担当</td> </tr> <tr> <td>中島 有二</td> <td>パソコンクラブ優遊会</td> <td>Zoom 技術指導担当</td> </tr> <tr> <td>河上 勇</td> <td>世田谷砂場クラブ</td> <td>企画担当、メール配信</td> </tr> <tr> <td>熊井 誠</td> <td>世田谷区健康体操連盟</td> <td>企画担当、広報</td> </tr> <tr> <td>今村 眞展</td> <td>世田谷地域デビューの会</td> <td>会計</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 行事</p> <p>① Zoomサロン12回（偶数月第3土曜日10：30～11：30、奇数月第3水曜日10：30～11:30）を計画通り開催し、運営委員がMCや相談員として対応した。適宜ガイドブックpdfのダウンロード方法を紹介。</p> <p>② Zoomサロン準備・反省をZoomサロン前後に運営委員で実施した。</p> <p>③ 運営委員会（4回予定）は、対面で2回、リモートで2回開催して懇話会の企画、チラシデザイン、アンケート集計分析、サロン運営全般を審議した。</p> <p>④ 懇話会（対面サロン）1回（ひだまり友遊会館会議室、12月21日）を開催し、市民活動推進課瀬川課長にゲスト講演いただいた。</p> <p>3. 集客・広報</p> <p>① チラシ上期3,000部、下期3,000部を印刷し区内施設へ配架した。加盟団体へPDFに配布し、積極的PR協力願った。</p> <p>② ガイドブック「地域活動への入口」のページにシニア Zoom サロン記事掲載</p> <p>③ ネットワークのHPに紹介記事(参加申込み入口)とチラシ pdf 貼付け</p> <p>④ フェア申込者へのEメール案内は、フェア開催時期がずれたため次年度4月に延期。IT講座受講者のサロンへ誘導は上手くできた。</p> <p>4. 年間スケジュール ほぼ予定通りに実施した。</p>	氏名	所属団体	役割	真貝 高三	せたがやすまほ研究会	委員長、MC	臼井 達郎	世田谷地域デビューの会	渉外担当	岡崎 宏	せたがや生涯現役ドットネット	広報、参加受付・メール配信	佐伯 京子	世田谷ウォーキングフォーラム	MC	大西 真由美	世田谷地域デビューの会	MC	小畑 崇	世田谷ウォーキングフォーラム	記録担当	中島 有二	パソコンクラブ優遊会	Zoom 技術指導担当	河上 勇	世田谷砂場クラブ	企画担当、メール配信	熊井 誠	世田谷区健康体操連盟	企画担当、広報	今村 眞展	世田谷地域デビューの会	会計
氏名	所属団体	役割																																
真貝 高三	せたがやすまほ研究会	委員長、MC																																
臼井 達郎	世田谷地域デビューの会	渉外担当																																
岡崎 宏	せたがや生涯現役ドットネット	広報、参加受付・メール配信																																
佐伯 京子	世田谷ウォーキングフォーラム	MC																																
大西 真由美	世田谷地域デビューの会	MC																																
小畑 崇	世田谷ウォーキングフォーラム	記録担当																																
中島 有二	パソコンクラブ優遊会	Zoom 技術指導担当																																
河上 勇	世田谷砂場クラブ	企画担当、メール配信																																
熊井 誠	世田谷区健康体操連盟	企画担当、広報																																
今村 眞展	世田谷地域デビューの会	会計																																

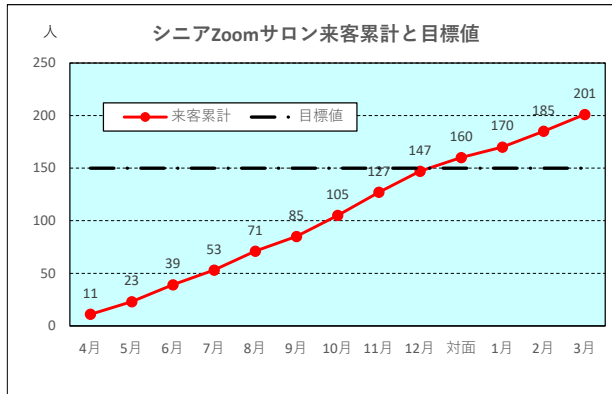
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
Zoom サロン	● 16(土)	● 18(水)	● 18(土)	● 20(水)	● 20(土)	● 21(水)	● 15(土)	● 16(水)	● 17(土)	● 18(水)	● 18(土)	● 15(水)	
委員会他	運営委員会	●	運営委員会	● 7/14	運営委員会	● 9/26		対面サロン	● 12/21	運営委員会	● 2/1	運営委員会	● 3/15
チラシ	●	●					●						
アンケート (Zoom機能)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
計画・報告						集計分析	●				集計分析	●	
						次年度計画補助金申請	●					決算報告	

事業の成果の具体的な内容

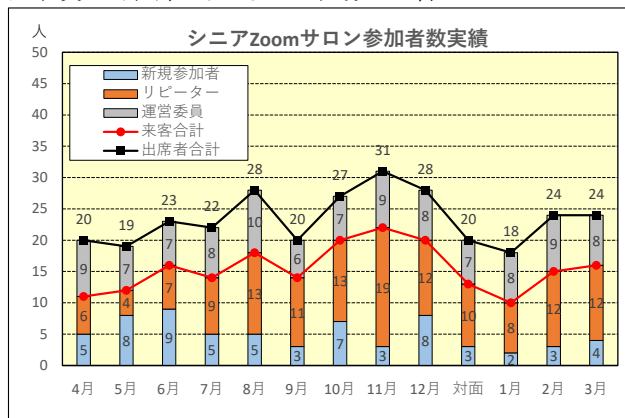
- ① シニアが Zoom で気軽に地域デビューの相談ができ、特に退職後の地域回帰を図ろうとしている方々の助けとなった。
- ② 地域活動経験の豊富なスタッフが運営委員(相談員)になっているので、相談者の悩みに向き合うことができ、個別の相談にのり地域団体への入会に繋げた。
- ③ 在宅のまま相談できるため、外出自粛中もシニアが安心して利用できた。
- ④ 対面サロンは、Zoom では得られない親近感があり、その後の Zoom でも効果があった。
- ⑤ シニア対象の IT 講座受講者に「Zoom 練習・実践の機会」を提供でき、シニアの能力維持向上に役立てられた。IT 講座で人を集めてサロンへ誘導という「シニアの社会参加のしくみ」の一つになったと言える。
- ⑥ ネットワーク各団体にとって、このサロンの場へ活動紹介講師を送り出すしくみが、各団体の活動に良い刺激となり、活性化に寄与した。

成果の自己評価

- ① 延べ参加者数:年間延べ 80~150 人が当面の目標、200 人以上にやら大成功と計画したが、**1 年間の参加者数実績値は 201 人で目標達成**した。



- ② リピーター数と新規参加者の両方を注視し、運営や広報に留意した。広報に注力する事で新規参加者を毎回ある程度確保したが、常連化する比率が不十分で飛躍的な参加者数の増加とはならなかった。

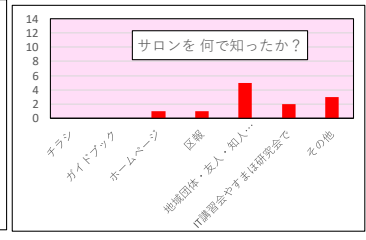
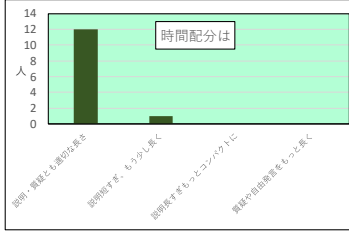
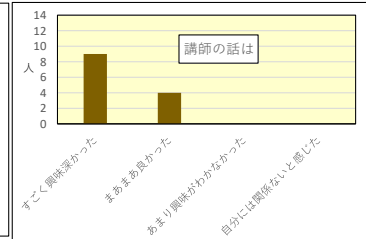
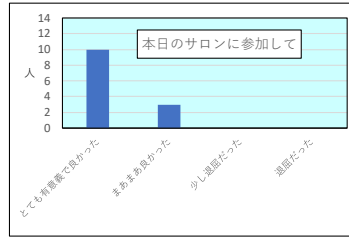


- ③ 地域団体への体験希望者 3 人以上、入会者数 1 人以上を目標とし「1 年間活動し 入会者ゼロでは問題!」と意識的に集客し、相談者に対して丁寧にフォローし、**体験希望者延べ 4 人、入会者 2 人**を得て**目標達成**した。

④ アンケートを毎回 Zoom 機能で実施、下に9月と3月の例を示す。毎回、おおむね好評であった。今後、もっと参加者が多くなった時に一人一人の発言時間確保が課題と予想され、その対応を検討して Zoom によるクラス分け機能の試行も 2 月に行った。

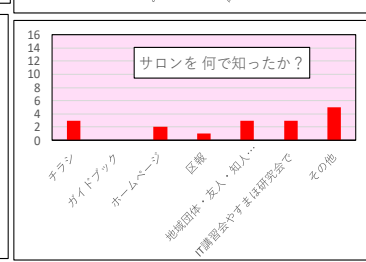
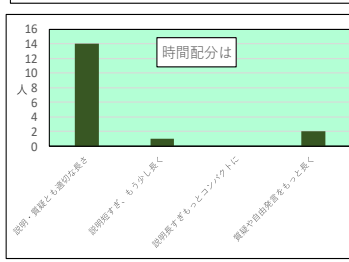
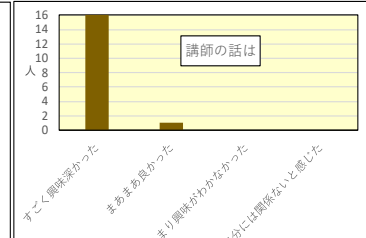
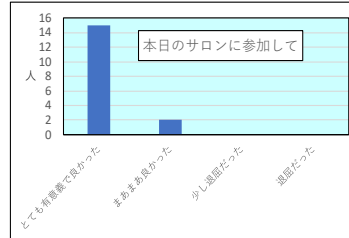
9月21日シニアZoomサロン アンケート回答結果

送付人数 14	本日のサロンに参加して	とても有意義で良かった	10
回答人数 13		まあまあ良かった	3
回答率 93%	講師の話は	少し退屈だった	0
自由記入欄は		退屈だった	0
		すごく興味深かった	9
		まあまあ良かった	4
		あまり興味がわかなかった	0
		自分には関係ないと感じた	0
	時間配分は	説明・質疑とも適切な長さ	12
		説明短すぎ、もう少し長く	1
		説明長すぎももっとコンパクトに	0
	何で知ったか？	質疑や自由発言をもっと長く	0
		チラシ	0
		ガイドブック	0
		ホームページ	1
		区報	1
		地域団体・友人・知人から	5
		IT講習会やすまほ研究会で	2
	その他	3	



3月15日シニアZoomサロン アンケート回答結果

送付人数 22	本日のサロンに参加して	とても有意義で良かった	15
回答人数 17		まあまあ良かった	2
回答率 77%	講師の話は	少し退屈だった	0
自由記入欄は		退屈だった	0
		すごく興味深かった	16
		まあまあ良かった	1
		あまり興味がわかなかった	0
		自分には関係ないと感じた	0
	時間配分は	説明・質疑とも適切な長さ	14
		説明短すぎ、もう少し長く	1
		説明長すぎももっとコンパクトに	0
	何で知ったか？	質疑や自由発言をもっと長く	2
		チラシ	3
		ガイドブック	0
		ホームページ	2
		区報	1
		地域団体・友人・知人から	3
		IT講習会やすまほ研究会で	3
	その他	5	



【実績写真】



12月21日(水)懇話会 於:ひだまり友遊会館



### (3) ホームページ委員会

<p>主旨</p>	<p>2012（平成 24）年度以来続けてきた生涯現役ネットワークのホームページの運営管理は、2018 年度からホームページ委員会に引き継がれた。</p> <p>このホームページは、生涯現役ネットワークおよびその会員団体の活動情報を発信したり、会員団体のホームページとのリンクを張るなど、会員団体間の情報共有のツールであり、各会員団体が相互に積極的な利用を図ることにより、より活発な活動を推進することを目的としている。</p>										
<p>事業実績・評価</p>	<p>事業実績）次の活動を行った。</p> <p>①HP の運営方針は、昨年度と同様に、情報収集については委員全員で担当し、HP の更新作業については、マニュアルに沿って、誰でも更新作業が出来るようにした。</p> <p>②ネットワークの活動情報や会員各団体のイベント情報を広報した。会員団体からの個別の依頼に応じてイベント情報を掲載したほか、委員各位が収集した情報を掲載した。定例的な活動については定期的に情報収集して掲載した。また区報などに掲載された情報の中から会員団体のイベント情報を得て、HP に転載した。</p> <p>③新型コロナウイルスの感染者数がかかり落ち着いてきたので、活動再開した団体が多く、久しぶりに HP 掲載数が増加した。</p> <p>④「生涯現役フェア」について、HP による広報と参加申込受付窓口を提供した。有観客での開催になり、HP からの申込を Google フォームで行ったが、すぐに集計ができ、便利さを感じた。また申込者のメールアドレスを収集できたので、参加者にリマインダーメールを送ることができ、さらに今後の NW イベントの案内にも利用できる。</p> <p>⑤世話人会や事務局から要望のあった情報を掲載した。</p> <p>⑥HP への問い合わせについては、事務局や代表と相談して、対応した。</p> <p>評価）2018 年度から委員会体制になり、安定的な運営ができるようになった。今年度は団体活動を再開したところが多かったため、HP に掲載されたイベント件数は 413 件(昨年度は 305 件)と急増した。</p> <p>現在のホームページ委員は、石川令子、岡崎宏、片岡龍次、真貝高三、横地彦太郎の 5 名。（敬称略、五十音順）</p>										
<p>会計報告</p>	<table border="1"> <tr> <td>収入</td> <td>運営費</td> <td>60,000 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">支出</td> <td>HP 更新作業費</td> <td>3000 円 x 12 月 = 36,000 円</td> </tr> <tr> <td>会議・活動費</td> <td>6000 円 x 4 回 = 24,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>60,000 円</td> </tr> </table>	収入	運営費	60,000 円	支出	HP 更新作業費	3000 円 x 12 月 = 36,000 円	会議・活動費	6000 円 x 4 回 = 24,000 円	計	60,000 円
収入	運営費	60,000 円									
支出	HP 更新作業費	3000 円 x 12 月 = 36,000 円									
	会議・活動費	6000 円 x 4 回 = 24,000 円									
	計	60,000 円									

せたがや生涯現役ネットワークHPの掲載記事数（2022年度）				
			20230329	
	<b>イベント・活動報告</b>		<b>募集中の講座・団体</b>	
1	えこひろば	69	1 シニアの脳トレ教室	16
2	ひだまり友遊会館・すまほ研	24	2 生涯学習センター（5地区）	5
3	ウォーキングフォーラム	23	3 介護予防講座、教室	6
4	中高年社交ダンスサークル	21	4 お口の元気アップ講座	5
5	野鳥ボランティア	9	5 その他	9
6	世田谷創作紙芝居	7		
7	生涯現役ネットワーク	7	<b>会員募集</b>	
8	世田谷区誌研	6	1 トラストまちづくり会員登録	1
9	シニアSOHO世田谷	3	2 トーク会会員募集	1
10	ひだまり文化研究会	2	3 けやき歩好会会員募集	1
11	風景じゅく+砂場クラブ	1	4 中高年社交ダンスサークル	1
12	そとでる	1	5 世田谷子ども食堂・上馬	1
13	和綴じの会いろは	1	6 自立ヨガ・クラブ	1
14	世田谷区	74	7 健康フォーラムけやき21	1
15	土と農の交流園	7	8 環境学習会	1
16	フラワーランド、次太夫堀公園	6	9 シニアSOHO世田谷	1
17	社会福祉協議会	5	10 世田谷区誌研入会案内	1
18	市民大学、生涯大学	5	11 世田谷砂場クラブ会員募集	1
19	うめとびあ	3	12 野鳥ボランティア募集	1
20	区民センター、せせらぎホール	3	13 せたがやすまほ研究会	1
21	身近なまちづくり（まち歩き）	3	14 ボランティア「おたがいさまbank」	1
22	明大、日体大、都市大	3	15 東京木村式自然栽培推進協会	1
23	トラストまちづくり	2	16 生きがい世田谷の会	1
24	保健センター	2	17 世田谷地域デビューの会会員募集	1
25	ボラ協	1	18 駒沢給水塔風景資産保存会	1
26	郷土資料館	1	19 芦花公園花の丘友の会入会案内	1
27	その他	10	20 ふきのとう配食サービス	1
	<b>トップページ</b>		<b>その他</b>	
1	NW総会、臨時総会、議事録	10	1 エコ通信	12
2	生涯現役フェア	3	2 かわら版	4
3	シニアZoomサロン、Zoom講座	3	3 メダカの学校たより	2
4	シニアの社会参加PJ	2	4 せたがや知っ得情報2022	1
5	パンフレット発行	2	5 せたがや便利帳	1
6	地域活動団体支援補助金	1	6 マイナンバーカードのトリセツ	1
7	その他	3	7 その他	8
			合計	90
	合計	323	総合計	413

第2号議案 令和4年度決算・監査報告について

(1) 一般会計

令和4年度一般会計収支報告

[ 収入の部 ]

項目	予算	実績	備考
前年度繰越金	170,652	170,652	
令和4年度年会費	104,000	104,000	52団体
普通預金受取利息		2	
合計	274,652	274,654	

[ 支出の部 ]

項目	予算	実績	備考
世話人会運営費	30,000	28,000	
Zoom通信費	26,400	26,400	2,200 x 12カ月
ホームページ管理費	60,000	60,000	
プロジェクト支援金	30,000	33,000	支援プロジェクト 4件
消耗品代	5,000		
郵送・通信費	5,000	1,840	ガイドブック郵送代
ガイドブック増刷印刷代		47,398	ガイドブック追加印刷 1,000部
ガイドブックデザイン代		5,000	ガイドブック デザイン変更
イベント経費 (広場出店代)		10,900	補助対象外 (売上額)
補助事業費用補填		40,825	補助対象経費 - (補助金 + 参加料)
けやきネット団体登録料		1,500	けやきネット新規登録料
銀行手数料		1,360	振込手数料 5件
予備費	118,252	0	
合計	274,652	256,223	

[ 総合収支表 ]

	前年度繰越金	年初予算	実績	次年度繰越金
収入	170,652	274,652	274,654	
支出		274,652	256,223	
収支		0	18,431	18,431

## (2) 特別会計


### 令和4年度 特別会計収支報告

【 収入 】	費目	予算 (円)	実績 (円)	内訳
(1) イベント (生涯現役フェア)	区補助金	470,000	470,000	
	講演会入場料	50,000	112,000	500円 x 224名
(2) 社会参加のしくみづくりプロジェクト	区補助金	780,000	780,000	
	寄付	30,000		
	ハーブ演奏会参加費		18,000	500円 x 36名
	地域活動体験講座参加費		10,000	1,000円 x 10名
(3) シニアZoomサロン	区補助金	247,600	247,600	
ネットワーク一般会計より補填	補助対象経費 - (補助金 + 参加費・入場料)		40,825	
	計	1,577,600	1,678,425	

【 支出 】	費目	予算 (円)	実績 (円)	内訳	
<b>事業経費</b>					
(1) イベント (生涯現役フェア)	出演料	200,000	220,000	ピーターバラカンさん講演料(消費税込み)	
	イベント保険料	10,000	0		
	チラシ・パンフレット・チケットデザイン料	30,000	40,000	パンフレット・チラシ・ポスター・チケット	
	チラシ・チケット印刷費	20,000	31,148	チラシ(8,500部)・チケット(300部)	
	実行委員・スタッフ交通費昼食代	45,000	32,000	1,000円 x 32名	
	IT機材レンタル代・IT班作業費	50,000	50,000	ビデオ映像編集・撮影用機材賃借	
	会場装飾費用	20,000	29,368		
	参加者受付業務	10,000	10,000	事前申込受付業務	
	実行委員会会議費	40,000	48,000	合計11回開催	
	パンフレット印刷費	70,000	70,403	パンフレット2,500部	
	協賛金 (出店料)	0	15,300	広場フェスタ(事前+当日)	
	(2) 社会参加のしくみづくりプロジェクト	打合せ会議費 (交通費)	120,000	150,500	定例会議 13回、地域活動講座会議 9回
		打合せ会議室借用費	40,000	21,750	
		チラシ作成 (デザイン料)	80,000	57,000	
チラシ印刷費 (送料込み)		50,000	59,795		
勉強会・交流会講師謝礼		40,000	0		
イベント講師謝礼 (ゲスト講師)		50,000	95,000		
イベント外部スタッフ謝礼		50,000	14,000		
イベント実行委員謝礼		100,000	180,000		
イベント実地調査費		50,000	16,000		
アンケート入力・分析作業		30,000	30,000		
資料コピー費			84,755	実行委員会資料、イベント資料	
行事保険			4,944		
ハーブ演奏会奏者謝礼			18,000	演奏会参加費を謝礼に充当	
その他			11,450	ハーブ搬送費、著作権使用料、駐車場代	
(3) シニアZoomサロン	人件費 (Zoomサロン分)	96,000	96,000	12回	
	人件費 (対面オフ会)	16,000	14,000	1回 x 7人 x 2,000円	
	運営委員会	48,000	46,500	4回	
	講師謝礼	36,000	36,000	3,000円 x 12名	
	会議室利用料	3,000	0		
	オフ会スピーチ謝礼	3,000	0		
	チラシデザイン・印刷費	30,000	45,632	チラシ3種類、合計11,900枚	
	共通経費	文具・事務用品	105,000	91,044	
	通信費	55,600	25,901		
	企画運営管理費	30,000	30,000		
	雑費	50,000	3,935		
	計	1,577,600	1,678,425		

上記の通り報告します。



令和5年5月1日 会計

今村真辰 

監査の結果、上記報告書に間違いのないことを報告します。

令和5年5月1日 会計監査

会計監査

真貝高三   
松本富美子 



### 第3号議案 令和5年度世話人および役職の選任について

(組織及び運営体制)

第5条 ネットワークに、総会において選任した会長、副会長、世話人、会計監査を置く。

- 2 世話人は、4名以上とし、議決権を持つ者(以下「委員」という。)のなかから公募し、現在の世話人会が推薦するものとする。
- 3 世話人で構成される世話人会は、総会の決定により、具体的な企画・立案・事業実施を行う。
- 4 世話人の任期は1期2年間とし、再任も含めて通算3期までとする。再任の場合は世話人会の推薦を必要とする。
- 5 世話人の欠員補充は、総会の承認により行い、欠員者の任期を引き継ぐ。
- 6 世話人代表・副代表・会計担当は1名とし、世話人の互選により、代表・副代表・会計担当を1名ずつ選任する。世話人代表は会長を、副代表は副会長を兼務する。
- 7 会計担当は、会計簿等を備え、収入支出の状況を整理し、会計年度末に会計報告を行う。
- 8 会計監査は2名とし、会計年度末に監査を行う。なお、任期は2年間とし、再任は2期までとする。

#### 令和5年度世話人

役職	氏名	団体名	任期
代表	河上 勇	世田谷砂場クラブ	2期2年目
副代表	秋山 宣興	ひだまり文化研究会	3期1年目
会計	今村 眞展	地域デビューの会	1期2年目
	横地 彦太郎	世田谷区誌研究会	2期1年目
	中島 有二	パソコンクラブ優遊会	1期2年目
	盛田 佐保子	劇団・せたがや創作紙芝居	1期2年目
	熊井 誠	世田谷区健康体操連盟	1期1年目
	藤岡 昭	世田谷区生涯大学同窓会	1期1年目
	松田 仁美	世田谷環境学習会	1期1年目

#### 令和5年度会計監査

氏名	団体名	任期
真貝 高三	世田谷地域デビューの会	2期2年目
岡本 博生	野鳥ボランティア	1期1年目

## 第4号議案 令和5年度事業計画について

### (1) 運営体制

内容	役割分担等
総会 年2回ほど	【世話人】議題内容の事前確認、当日説明 【区(事務局)】 ・資料(開催通知、会議資料、議事録)の作成および送付 ・会場予約
世話人会 年5回ほど (必要に応じて、Zoom 会議を行う。)	【世話人】プロジェクトや新規入会会員の承認等 【区(事務局)】 ・資料(会議資料、議事録)の作成および送付 ・会場予約 ・会員の入退会管理
プロジェクト	【プロジェクトリーダー】 ・企画運営を行う ・世話人会および総会での報告 【区(事務局)】後援申請が認められたプロジェクトのみ、 区後援事業として、チラシの配布協力をする
補助事業 ・イベント(生涯現役フェア) ・シニアの社会参加あとおしプロジェクト ・シニア Zoom サロン ・ネットワーク再活性化事業 (ホームページ運営含む)	【実行委員】 ・企画運営を行う ・世話人会および総会での報告 【区(事務局)】 ・事業経費不足分について補助金支出 ・チラシ配布、区のおしらせ掲載
せたがや生涯現役 ガイドブック改定	【編集委員】デザイン編集、印刷製本手配を行う 【区(事務局)】調査票の取りまとめ、最終校閲

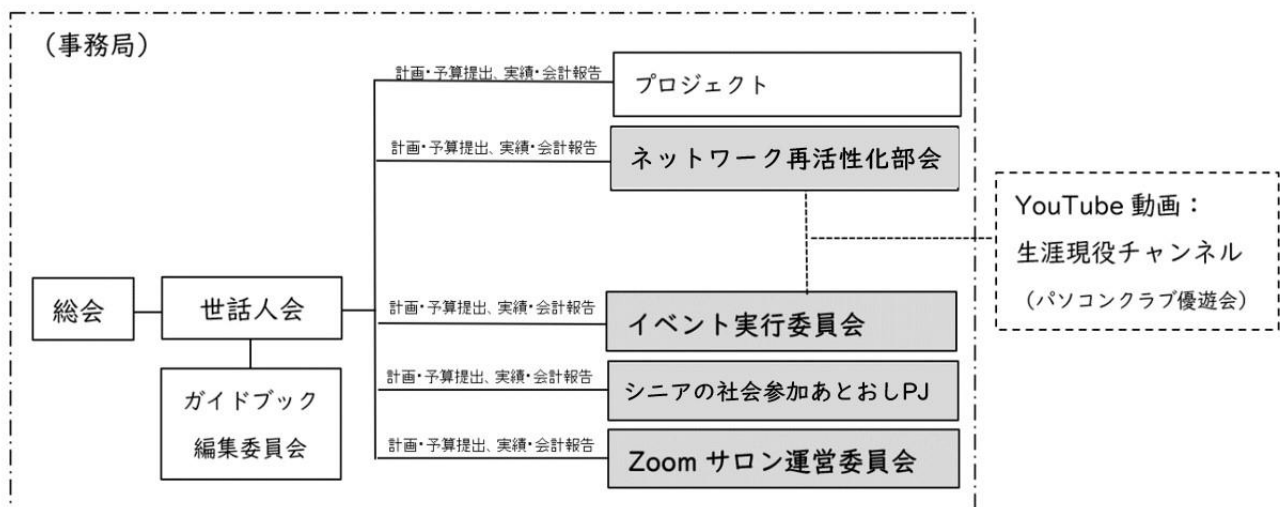


図1. せたがや生涯現役ネットワーク組織図(着色部は区の補助事業)

## (2)プロジェクト

(プロジェクト)

第7条 会員は、第2条に規定するネットワークの目的を実現するため、生涯現役の社会づくりを推進し、広く区民に呼びかけるプロジェクトを提案・実施することができる。

2 プロジェクトは、ネットワークに加入している2団体会員以上が共催・協力・連携等により実施する事業又は団体会員が単独で実施する事業とする。ただし、団体会員が単独でプロジェクトを実施する場合には以下に掲げる条件を満たさなければならない。

(1)内容が社会貢献にふさわしいものであること。

(2)収益を目的にしないこと。

(3)団体の経常的な活動ではないこと。

3 プロジェクト支援金額及び件数は別途世話人会が定める。

4 同一団体、同一テーマでのプロジェクトの応募は3年を上限とし、3年を超えるプロジェクトについては別途世話人会で協議する。

5 プロジェクトの実施希望団体は、計画案を原則としてプロジェクト実施前年度の2月又は実施年度の7月までに世話人会に提出する。

6 世話人会でのプロジェクト承認をもって、プロジェクトの構成員が推薦する者が「プロジェクトリーダー」となる。

7 プロジェクトの実施に先立ち、会員にプロジェクトの参加募集をすることができる。

8 プロジェクトに関するすべての権限及び責任は、プロジェクトの構成員に帰するものとする。

9 プロジェクトリーダーは、世話人会にてプロジェクトの進行状況報告を行い、総会にて成果報告を行うこととする。

番号	プロジェクト名
a	世田谷ゆかりの生涯現役電車と旅館を訪ねる会(第3回)
b	IT活用支援プロジェクト <b>Seta-IT-Team</b>

a.世田谷ゆかりの生涯現役電車と旅館を訪ねる会(第3回)

プロジェクト名	世田谷ゆかりの生涯現役電車と旅館を訪ねる会(第3回)
開催日時	令和5年11月25日(土),26日(日)
会場	銚子市・銚子電鉄、大多喜町・大屋旅館、いすみ市・ポッポの丘(集合場所:東京駅)
事業主体	主体となる団体:世田谷風景じゅく 連携する団体:あり・なし 「あり」の場合団体名→世田谷砂場クラブ
テーマ	世田谷にゆかりの車両等に関連した千葉県内の施設群を巡る1泊2日の見学会を企画し、多くの同好者を集めて新しい交流・親睦を図る。
趣旨	かつて世田谷を走った電車が、2度の定年退職を経て、今も銚子電鉄で現役続行中。大多喜町大屋旅館は、かつての三軒茶屋の石橋楼を彷彿させる文化財でかつ現役の旅館。ポッポの丘には世田谷でかつて活躍した電車の台車に再会できる。こうした世田谷にゆかりの車両・旅館を効率的に見学する会を催すことで、世田谷風景じゅくの会員あるいは区内の鉄道ファンが交流する場を提供する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度、4年度実施企画と同じであるが、参加者から好評であったので、改善しつつ多少の変化をさせて繰り返すことで、仲間を増やし親睦を深める。</li> <li>・参加者募集(チラシ配布・生涯現役ネットワークHP活用など)</li> <li>・見学会を企画、実施。</li> <li>・報告書を作成・公開し、今後の類似した交流事業の促進に役立てる。</li> </ul>
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の仲間を増やす。</li> <li>・ネットワーク加盟の複数団体間の交流・親睦が深まる。</li> <li>・条例に基づく「世田谷の地域風景資産」及び「風景づくり活動」について参加者の興味と関心が深まる。</li> </ul>
経費予算見積	収入:参加者会費@21,000円×(5~10人)=105,000円~210,000円 支援費=10,000円 <b>総額 115,000円~220,000円</b> 支出:交通費12,000円×人数(5~10人)=60,000円~120,000円、 宿泊費(1泊2食)9,000円×人数(5~10人)=45,000円~90,000円、 チラシ印刷代10,000円 <b>総額 115,000円~220,000円</b>

申し込み期限:令和5年11月10日(金)必着

b. IT 活用支援プロジェクト Seta-IT-Team

プロジェクト名	IT 活用支援プロジェクト Seta-IT-Team
開催日時	2023 年 6 月から 2024 年 3 月
会場	世田谷区内各所
事業主体	<p>主体となる団体： 優遊会          連携する団体： <input checked="" type="checkbox"/>あり <del>なし</del>          「あり」の場合団体名→ せたがやすまほ研究会          シニア SOHO 世田谷          トーク会</p>
テーマ	ネットワーク加盟団体の IT 活用の支援活動、
趣旨	昨年度に仮設立された Seta IT Team を母体に、世田谷区にて活動している IT 関連の活動をしている団体(複数)を加え、本格的な団体として組織体制を整え、下記の事業を推進していきます。
事業内容	<p>A) 地域活動団体のために ①連絡網の再構築、②対外的な広報活動、③参加者募集の PR 活動などを IT を活用して行える組織にするための技術支援を行います。【目標】3団体</p> <p>B) 団体活動やイベントの動画撮影、オンライン配信、YouTube 公開などを受託します。【目標】3団体(イベント)</p> <p>C) IT 技術と指導力を兼ね備えたスタッフ育成のための講習会を実施します。【目標】2回</p>
期待される効果	活動団体の組織力が強化されると同時に、会員増加が見込めます。Seta-IT-Team にとっては、スタッフのレベルアップが期待できます。
経費予算見積	<p>収入：プロジェクト補助 =1 万円          受託金 4万円×6団体(イベント)=24万円          (この費用は最低限で制作要望内容により異なります。)</p> <p>支出：チラシ等作成費 =1万円          スタッフ役務費+交通費等 =15万円          機材リース、購入費 =5万円          外部講師委託料 =4万円</p>

(2) 補助事業

a. イベント

補助事業の名称	第 17 回生涯現役フェア
補助事業のねらい	多数のシニア区民が来場するように本イベントを開催して、加盟団体紹介や活動成果発表を通じて、地域活動団体への入会者並びにネットワークへの加盟団体を増やすことがねらいである。同時に、活動成果発表へ向けた準備などを通じて各団体の活動活発化や団体間交流もねらっている。
補助事業の実施内容	毎年フェアのサブテーマを定め、生涯現役を実践している著名人によるサブテーマに沿った講演会等を開催するとともに、本ネットワーク加盟団体による舞台発表や展示(団体紹介・エキシビション・体験コーナー・物販・景品)及び団体間交流を行う。 フェアの実施状況を録画し YouTube 動画として仕上げ、後日 PR 媒体として活用する。
補助事業の対象	区内在住の中高年
補助事業の実施期間	令和 5 年 4 月～令和 5 年 10 月/フェア:令和 5 年 10 月 15 日(日)
補助事業の実施場所	玉川せせらぎホール
予定参加人数等	有料観客 150～300 名、出展団体・スタッフ含め合計 500 名
補助事業の実施方法	4 月 実行委員募集、講演者検討 5 月 イベント出展団体及び当日スタッフの募集 6 月 ポスター・チラシデザイン、当日スケジュールの検討 8 月 来場者募集開始 9 月 最終確認、イベント出展団体及び当日スタッフへの説明 10 月 イベント実施 11 月 実施報告書の提出/事後チラシ配布 注: 例年 2 月開催だったが集客数・宣伝効果が大きいので、10 月開催に変更し、その後開催される各種行事の集客に役立つスケジュールとした。
実施体制	ネットワーク内に公募した実行委員とパソコンクラブやすまほ研を主体とした IT 班 10 名(動画収録)と各団体からの当日スタッフによる。
補助事業の期待できる成果	生涯現役社会づくりを目指す「せたがや生涯現役ネットワーク」の存在と役割を広く区民に周知すると同時に、各加盟団体の PR を図り、社会的活動、特にボランティア活動で社会を支えてくれる多くの人材を獲得できる。 フェアに集まった観客へ「シニアの社会参加あとおしプロジェクト」の各種行事の PR を積極的にいき、その参加者の増加と加盟団体への入会者が増えることが期待できる。

【年間スケジュール】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
実行委員募集	実行委員会 講演者検討 講演者決定 企画内容確定 来場者募集開始 プログラム・チラシデザイン検討 チラシ印刷 出展者説明会					イベント実施	実施報告書提出
	出展団体募集			出展団体の出展準備			

b.シニアの社会参加あとおしプロジェクト

補助事業の名称	シニアの社会参加あとおしプロジェクト
補助事業のねらい	令和2～4年度の「シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト」で得られた知見に基づいて、シニアが地域の仲間づくりの「きっかけ」やその活動の「あとおし」を効果的に行い、より多くのシニア世代の社会参加が実現することを目指す。
補助事業の実施内容	① 健康保持、芸術・趣味、ボランティアなど様々なテーマの勉強会・講習会の開催。(全区内対象の仲間作りイベント)。 ② まち歩きを含めた地域イベント開催。(5つの地域ごとのイベント) ③ 地域活動体験講座開催。(修了後に体験した地域活動団体に入会する率が高い)
補助事業の対象	区内在住の中高年
補助事業の実施場所	区内各所、ひだまり友遊会館(体験講座)
予定参加人数	延べ200名前後
補助事業の実施期間	令和6年3月までの単年度事業(3か年計画に基づく継続事業の予定)
補助事業の実施方法	委員募集6月、実行委員会7月～3月、イベント実施11月～3月 年間スケジュールは別表のとおり。
補助事業の実施体制	生涯現役ネットワークの各団体に公募した実行委員会と世田谷ボランティア協会と世田谷区社会福祉協議会に推薦を依頼し、協業する
補助事業の期待できる効果	生涯現役ネットワークの各団体へ入会して地域活動を始め人達が増えて、シニアの孤立・孤独の解消に繋がる。 既存の団体へ入会せずに新たな地域団体を作ろうとする人材の発掘にもつながり、市民活動の活性化に役立つ。 生涯現役ネットワークの各団体が、イベント開催や「地域活動体験」での講師やスタッフを担当し、体験入会者受け入れなどを通じて、活動の意味を再確認し、活動自体を広める機会にできるなど活性化する。

【年間予定表】PR力のある生涯現役フェアを10月に実施して、11月から開催する本PJのイベントへの集客を意識的に行い、補助事業全体の効率を高める。

【令和5年度】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実行委員会		—●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
広報						---	---	---	●	---	---	
イベント								●●●	●●	●	●	
アンケート								---	●	---	---	●
次年度計画・実績報告				—●								●

【評価尺度(メトリック)と目標値】

- a. イベント参加者数 目標値: イベント定員数の80%以上(本来の募集対象者)
- b. 参加者の満足度 目標値: アンケート回収率70%以上の条件で、  
◎+○:70%以上 かつ ×:10%以下
- c. 体験講座(準)皆勤参加者数 目標値: 年間5名以上
- d. 地域活動団体への入会者数 目標値: 年間3名以上

【3か年各年度の事業計画方法】

- 第1年度: しくみづくりPJ報告書の企画実施、結果評価と新アイデアを含む次年度計画立案
- 第2年度: 第1年度報告書企画の実施、結果評価と新アイデアを含む次年度計画立案
- 第3年度: 第2年度報告書企画の実施、3か年の総括と後継PJの計画立案

### c.シニア Zoom サロン

補助事業の名称	シニア Zoom サロン
補助事業のねらい	地域デビューをしたい方に対して Zoom で相談に乗り、相談者のニーズに沿ったネットワーク加盟団体を紹介・地域活動に役立つ行政機関の紹介や情報提供を行い、シニアの地域活動参加を促す。 Zoom サロンを「人が交流する地域活動」になるように常連参加者を増やし有益な活動にする。(Zoom サロンに出るだけでも地域デビュー)
補助事業の実施内容	・Zoom サロン 12 回:10:00~11:00 毎回ネットワーク加盟の一団体が活動紹介 20 分、参加者が自己紹介と質疑、MC が会話の場を盛り上げる。毎月の団体紹介を YouTube 動画に編集して活用する。 ・サロン準備・反省:Zoom サロン前後に運営委員が準備と反省会。 ・運営委員会 4 回:対面サロン企画、チラシ検討、アンケート分析。 ・対面サロン 1 回:区内施設会議室で 12 月ころ開催(ゲストスピーチ)。
補助事業の対象	区内在住の中高年
補助事業の実施場所	リモート(Zoom)、区内施設
予定参加人数	延べ 180 名前後
補助事業の実施期間	令和 6 年 3 月までの単年度事業(ただし、次年度も継続できるように目標を持って活動して成果を上げ、予算申請する予定)
補助事業の実施方法	チラシ、区報、HP、口コミ(IT 講座受講生を勧誘)、メール他にて集客を図り、サロン参加者数を確保し、リピート率も高くなるように内容を充実させて、Zoom によるリモート会議機能でサロンを開催する。下の年間予定表参照。
補助事業の実施体制	ネットワーク内に公募を行って組織した Zoom サロン運営委員会(表1=現状)について、基本的に変更なきものとするが、適宜メンバーの増減・交代も考慮する。
補助事業の期待できる効果	Zoom で気軽に相談でき、退職後の地域回帰を図る方の助けとなる。地域活動の経験豊富なスタッフが運営委員になっているので、相談者の悩みに向き合え、場合により個別の相談にのる事もできる。 相談者は、在宅のまま相談でき、外出自粛中も安心して利用できる。

#### 【年間予定表】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
サロン	● 15(土)	● 17(水)	● 17(土)	● 19(水)	● 19(土)	● 20(水)	● 21(土)	● 15(水)	● 16(土)	● 17(水)	● 17(土)	● 20(水)
委員会他	運営委員会 ●		運営委員会 ●		運営委員会 ●			対面サロン ●		運営委員会 ●		
チラシ	—●						—●					
アンケート (都度メール)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
計画・報告						次年度計画補助金申請 ●						決算報告 ●

※運営委員会は対面で4回開催予定とするが、必要に応じて適宜 Zoom でも開催する。



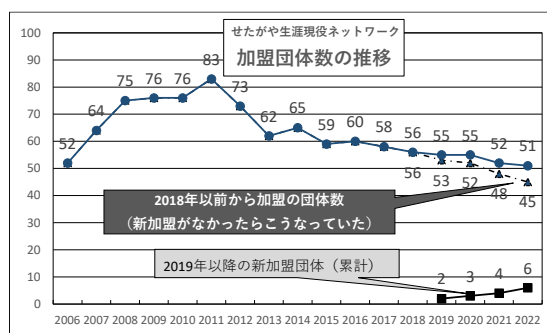
表1. Zoom サロン運営委員会メンバーと役割

氏名	所属団体	役割(案)
真貝 高三	せたがやすまほ研究会	委員長、MC
臼井 達郎	世田谷地域デビューの会	渉外
岡崎 宏	せたがや生涯現役ドットネット	広報、参加受付・メール配信
佐伯 京子	世田谷ウォーキングフォーラム	MC
大西 真由美	世田谷地域デビューの会	MC
小畑 崇	世田谷ウォーキングフォーラム	記録担当
中島 有二	パソコンクラブ優遊会	Zoom 技術指導、動画作成
河上 勇	世田谷砂場クラブ	企画、広報、参加受付・メール配信
熊井 誠	世田谷区健康体操連盟	総務(会議等の設営)
今村 眞展	世田谷地域デビューの会	会計

#### d. ネットワーク再活性化事業

##### 背景

せたがや生涯現役ネットワークは、2014 年以降加盟団体数が減少し続け、さらにコロナ禍による高齢化加速で団体解散が懸念される団体もあり、これ改善するために、ネットワーク並びに各団体活動の再活性化を計画的に行うことが急務となっている。



補助事業の名称	ネットワーク再活性化事業
補助事業のねらい	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ネットワーク加盟の各団体をヒアリングし、現状とニーズを把握し、必要に応じて活性化対策等を施し、解散や脱退を予防する。</li> <li>② 「生涯現役」の原点に立ち返って、区内諸団体・企業等を含む対象に対して、ネットワークへの加盟を勧誘して新規加盟団体を増やして、ネットワーク全体を活性化する。</li> <li>③ HP 編集委員会をこの事業へ取り込んで、ネットワーク全体の IT 能力向上を効率的に行う。</li> </ol>
補助事業の実施内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ネットワーク加盟各団体の活性化と交流活発化(交流会)</li> <li>② 戦略的な新規加盟団体勧誘</li> <li>③ ネットワーク HP の活用度 UP と各団体 HP 維持改善の援助</li> </ol>
補助事業の対象	区内在住の中高年、区内の地域活動団体、企業、NPO など
補助事業の実施場所	区内施設、ひだまり友遊会館、梅丘分庁舎
新加盟団体数の目標	新規加盟団体数 3 団体以上
補助事業の実施期間	令和 5 年 4 月～6 年 3 月までの単年度事業。
補助事業の実施方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 過去のアンケート結果に加え、数団体まとめた面談にて個々の要望を調査し、必要に応じて改善策などを実施する。また、新規入会者の勧誘手段(ガイドブック更新、ネットワーク HP 活用活発化、各団体の個別紹介動画制作、各団体ホームページ改善支援など)にて活性化に寄与する。さらに、団体間の交流活発化により各団体の活性化を図るべく、生涯現役フェア(10 月)会場で交流会を開催する。あとおし PJ のイベントで相乗り可能なら交流会を開催する。</li> <li>② 加盟が望ましいと考えられる地域活動団体や企業等をリストアップし、メールや手紙で勧誘し、必要に応じて訪問・面談もおこなう。</li> <li>③ HP 改善等に関して IT 能力の高いスタッフを確保して実施する。</li> </ol>
補助事業の実施体制	<p>ネットワーク内に「ネットワーク再活性化部会」を以下のメンバー(9 名 + 公募 0~2 名?)で組織する。</p> <p>リーダー: 小川正徳(紙芝居) サブリーダー: 河上勇(砂場クラブ)</p> <p>IT 担当: 中島有二(優遊会) 会計: 今村真展(地域デビュー)</p> <p>HP 担当: 岡崎宏(ドットネット)、真貝高三(すまほ研)、石川令子(環境学習会)、横地彦太郎(区誌研)、片岡龍次(トーク会)</p>
補助事業の期待できる効果	<p>各団体の状況を聞いて対応する事で、コロナ禍での活動停止や入会者激減による活動衰退・解散を回避することに寄与できる。</p> <p>区内の企業訪問時、社員退職時手渡し書類にネットワークガイドブックを含めてもらうよう依頼。退職者等が地域活動を始めやすくなる。</p> <p>新規加盟団体を多く迎えることで、ネットワークが活性化する。</p>

【年間予定表】

【令和5年度】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
部員募集 再活性化部会	●	●	●	●	●		●		●		●	●
ガイドブック		●	●	●								
交流会							フェアに相乗り			あとおしりに相乗り		●
既存団体調査 活性化個別対 応(HP・動画)												●
団体・企業新 規加盟の勧誘			リスト 化	発送	訪問	発送	訪問	発送	訪問	発送	訪問	●
次年度計画・ 実績報告					●							●

**第5号議案** 令和5年度予算計画について

令和5年度の予算について、以下の通り執行する。

1. 会費の納入について

会則どおり、団体会員は年2,000円、個人会員は年1,000円の会費を徴収する。

2. 執行について

一般会計は会費を、特別会計は区補助金を主な財源とし、それぞれ所要の経費を執行する。

(1) 一般会計

2023年度（令和5年度）生涯現役ネットワーク予算計画  
（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

収入の部

前年より繰越	18,431円
年会費（団体59件）	118,000円
年会費（個人1件）	1,000円
合 計	<u>137,431円</u>

支出の部

Zoom通信費（2,200円×12か月）	26,400円
世話人運営費	30,000円
プロジェクト支援金	30,000円
消耗品代	5,000円
郵送・通信費	5,000円
小 計	96,400円
予備費	41,031円
合 計	<u>137,431円</u>

## (2) 特別会計

### a. イベント

【収入】		
費目	金額(円)	積算内訳
区補助金	430,000	支出合計額－講演会参加費
講演会参加費	75,000	500円×150名*
合計	505,000	
【支出】		
費目	金額(円)	積算内訳
1)事業経費		
出演料	220,000	
イベント保険料	5,000	200名×25円
チラシデザイン費	20,000	事前チラシ+当日プログラムの2種類。 観客増加で収入増額時は事後チラシを制作*
チラシ・チケット印刷費	45,000	チラシ 35,000円、チケット 10,000円
ガイドブック印刷費(編集費含む)	55,000	新加盟団体を反映した改訂版
実行委員・当日交通費及び弁当代	35,000	当日交通費 500円×35人 弁当代 500円×35人
IT 班事前準備会議・準備作業	10,000	2,000円×5人
YouTube 動画編集費用	25,000	観客収入額に応じて作業量・費用を増減*
会場装飾費用	30,000	会場飾りつけデザイン料、ブース団体名等印刷代、演台用生花。ただし、観客数見込みで出費を調整*
参加者受付業務	10,000	受付確認メール送信および電話受付、リマインダーメール送信
実行委員会交通費	25,000	500円×5回×10人
小計(ア)	480,000	
2)共通経費		
消耗品費	6,000	名札、腕章、手提げ袋など(出来るだけ前年度のものを流用)
通信費	10,000	
管理費	9,000	会計業務(事業経費の2%、千円未満切り捨て)
小計(イ)	25,000	
合計	505,000	

\* : 観客数により変動する収入額を見越して支出費目・支出額を調整してバランスをとる。

b. シニアの社会参加あとおしプロジェクト

【収入】		
費目	金額(円)	積算内訳
区補助金	403,500	支出合計額
合計	403,500	
【支出】		
費目	金額(円)	積算内訳
1) 事業経費		
会議費(交通費)	100,000	500円×20人×10回
会議室借用料	20,000	2,000円×10回
チラシデザイン費	35,000	街歩き・勉強会の地域版5、全体版1、「体験講座」全体版1 合計7種類 5,000円×7種類
チラシ印刷費*	31,500	4,500円(2,000部)×7
勉強会・交流会講師謝礼	40,000	10,000円×4回
街歩き講師謝礼	25,000	5,000円×5人
街歩き・体験講座謝礼(外部スタッフ)	30,000	2,000円×15人
街歩き・体験講座謝礼(実行委員)	40,000	2,000円×20人
街歩き実施調査費	50,000	スタッフ謝礼:2,000円*2人*5地域 交通費:6,000円*5地域
街歩きアンケートデータ整理作業	10,000	100名分10時間
小計(ア)	381,500	
2) 共通経費		
文具事務用品・消耗品費	5,000	
通信費	10,000	
管理費	7,000	会計業務(事業経費の2%,千円未満切り捨て)
小計(イ)	22,000	
合計	403,500	

c. シニアZoomサロン

【収入】		
費目	金額(円)	積算内訳
区補助金	310,600	
合計	310,600	
【支出】		
費目	金額(円)	積算内訳
1) 事業経費		
サロン相談員/MC 謝礼	108,000	(1,000円×7人+2,000)×12回
会議費	25,000	500円×10人×5回
参加受付・リマインダー・アンケート・データ管理業務	39,000	1,000円×13回×3人
講師謝礼	57,400	3,000円×10団体+特別講師(大学教授級13,700円/1時間*2回)
会議室利用料	3,000	500円×4回 1,000円×1回
団体紹介部分の動画制作費	36,000	Seta-IT-Team へ制作委託
対面サロンスピーチ謝礼	3,000	3,000円×1人
チラシデザイン、印刷費	24,000	
小計(ア)	295,400	
2) 共通経費		
文具事務用品・コピー代他	5,000	
郵便代	5,200	ガイドブック郵送(140円×30回+250円×4回)
管理費	5,000	会計業務(事業経費の2%、千円未満切り捨て)
小計(イ)	15,200	
合計	310,600	

d. ネットワーク再活性化事業

【収入】		
費目	金額(円)	積算内訳
区補助金	328,000	
合計	328,000	
【支出】		
費目	金額(円)	積算内訳
1)事業経費		
ガイドブック制作費	81,000	71,000円(2,000部)デザイン料10,000円
既存団体ヒアリング	14,000	20団体(20人)+8人@500
HP更新作業費	46,000	@3,000×12ヶ月(主作業)+10,000(補助者)
調査・計画策定作業費	10,000	勧誘団体・企業、団体要望とりまとめ
再活性化部会交通費	72,000	1,000円×9人×8回
会議室利用料	4,000	作業会500円×8回
紹介動画制作費	50,000	YouTubeにup、広報活動支援する Seta-IT-Teamへ制作委託
団体・企業訪問	30,000	1,500円×2人×10回
小計(ア)	307,000	
2)共通経費		
文具事務用品・コピー代他	5,000	
郵便代	10,000	
管理費	6,000	会計業務(事業経費の2%、千円未満切り捨て)
小計(イ)	21,000	
合計	328,000	



## 第1号報告 会員入・退会について

### (1) 会員入会について

番号	入会承認日	団体名・個人氏名
1	令和4年11月9日	世田谷区生涯大学同窓会
2	令和4年11月9日	ナティヤム
3	令和5年3月20日	世田谷こども食堂・上馬
4	令和5年4月27日	かたよせ会
5	令和5年4月27日	アニマシオントイ
6	令和5年4月27日	世田谷区シニアスクール
7	令和5年4月27日	佐々井 明子 (個人会員)
8	令和5年5月2日	エレガント・フラ
9	令和5年5月3日	にこたま和友会

### (2) 会員退会について

番号	団体名
1	
2	
3	

59団体・1個人が加入 (令和5年5月11日時点)